



国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「ロータリーはあなた自身から」
— You are the key —

高田ロータリー今年の
スローガン

「友情を深め合い、
ロータリーを楽しく！」



2014～2015年度

国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン
2560地区ガバナー 佐々木昌敏
高田ロータリー会長 齋藤 尚明
幹事 牧野 章一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
小柳 勝司 佐藤 憲二 石田 誠夫 澤井 祥典
大島 誠 堀井 靖功 永井 謙

第33回例会 ■ 3月6日(金)

No.31

会長挨拶 ● 齋藤 尚明

皆さんこんにちは。本年度第33回例会です。

きょうは啓蟄ですが暦どおりにいいお天気で久しぶりにお日さまが顔を出して暖かく春も近いなという感じです。

来週は新幹線も開業しますしこの分だと桜が咲くのも早いのではないかと思います。気分的には何となく浮きうきしますね。

来週は高田東 RC、新井 RC との合同例会でやすねさんにて夜例会となりますのでよろしくお願い致します。

また3月21日土曜日ですが午後4時からやすねさんで第7分区交流会があります。今のところ直江津 RC さんが21名、越後春日山さんが24名の出席予定ですが主管である当クラブは17名にとどまっています。少なくとも20名はと思っておりますので何卒皆様の御協力をよろしくお願い致します。

本日の卓話は財務省関東財務局 新潟財務事務所長の高波政夫様です。よろしくお願い致します。

出席報告

出席率 100%

ビジター

米山記念奨学生 阿栄さん
横瀬和夫君 (高田東 RC)

メイクアップ

石倉 悟君 (3/7(土)米山記念奨学生終了式)

セレモニー

米山記念奨学生阿栄さんへ 米山奨学金寄贈

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

福田 聖君——この度、当社三和工場構内に念願の30トンLPGタンクを設置した出荷事業所を設けました。又、同時に脇野田石沢でLPガススタンドを運営することになりました。少しでも地域に役立つ設備として鋭意努めたいと思いますので、今後共よろしくお願ひ致します。

親睦委員会

会員お誕生日各お祝い

幹事報告

配布物：週報No.30

回覧物：ガバナー月信3月号、小林古径芸術へのいざない展

報告：3/13(金)高田・高田東・新井 RC 合同例会、3/21(土)第7分区交流会の案内

講話

地方創生と各種政策

関東財務局新潟財務事務所 所長 高波 政夫 様



「地方創生と各種政策」と題した講話は ①日本の財政の現状と課題 ②平成26年の補正予算 ③27年度予算のポイントの3点について資料に基づき説明いただきました。関心のある部分をメモしてみました。

わにの口の日本財政：一般会計の税収と歳出の差は平成に入ってから急速に開き、グラフでは大きく開いた「わにの口」のように示されている。

24年間で社会保障費は2.6倍に：1990年対比で社会保障費関係の伸びは2.6倍に、税収は14%減っており、公債で不足分を補っている。

公債残高807兆円：27年度末で国民一人あたりの借金は638万円。

社会保障の国民負担：世界的に見て日本は低負担中福祉？、アメリカは低福祉低負担、北欧は高福祉高負担。日本はどう進むのか。

人口減少の中での成長の確保：歳出の抑制と歳入の拡大、社会保障・税一体改革を推進し、第3の矢・成長戦略（＝日本再興戦略）で生産性の向上を図る。

国の長期ビジョン：2060年に1億人程度の人口を確保する。2015～2019の総合戦略として政策目標・施策を策定する。東京一極集中の是正なるか。

地方人口ビジョン：中長期の将来展望を提示し、5年間の目標は情報支援・人的支援・財政支援を行う。「しごと」と「ひと」の好循環作りが課題。

地方創生関連予算：27年度予算は補正と合わせて2兆円に。「まち・ひと・しごと創生」の総合戦略を国・地方で総合的に進められるようにする措置。「〇地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする 〇地方への新しい人の流れをつくる 〇若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 〇時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」ことが個別政策としてもられている。

また、「平成27年度税制改正（案）のポイント」の冊子も配布されました。短時間にも係わらず大きなテーマを、精力的に説明いただき、会員はそれぞれ真剣に傾聴していました。（広報委員会：堀井）

クラブの運営について その2

パストガバナー 東山 昕也 君

<奉仕の実践>（例会から出て奉仕せよ）

例会に出席して得た自己改善のエネルギーを人々に及ぼすことが大切です。これを「奉仕の実践」といいます。

サービス（奉仕）は自己の職業を通じて世のため人のために役立つこと、その心を従業員や顧客あるいは取引関係に適應させることが「職業奉仕」です。「ロータリーは、自己の利益と他人の利益とを調和させんとする人生哲学」すなわち、お互いの「利益」は物資面だけではなく「信用」という精神的な利益を言います。アーサー・F・シェルドンの言う“*They Profit Most who serve Best*”「奉仕に徹するものに最大の利益あり」は、精神的な利益をさし、この様な無形の財産を長期にわたって得ることを示唆しております。

更に心境が高まり、視野が広くなり、地域社会に広がり、より住みやすく働くやすい「地域」にすること、これが「社会奉仕」であります。

また、これが国境を越えて海外の人たちに、この心を及ぼし、国際間の理解と親善を務め、平和を推進しようというのが「国際奉仕」であり「大陸をつなぐ」事になります。

このように、ロータリーは職場で、地域社会で、更に国境を越えてその功德を伝えてゆくことにより、世の中を明るく、住みやすく、働きやすい場

所にする精神的な運動であり、あくまでも個人的な奉仕が基本になっております。

それではロータリークラブは何をする団体なのか？

単なる慈善団体や、寄付団体でもボランティア団体、あるいはお金集めや人集めの団体でもありません。1920年（大正9年10月10日）丸の内の銀行のクラブで、23名の大企業家が集まって、東京RCが誕生しました。それを創ったのが米山梅吉さんです。米山梅吉さんは「RCは奉仕クラブではない。クラブを構成するロータリアンが奉仕をするのであって、クラブ自体が奉仕することはない。クラブは奉仕するロータリアンを育てるために存在する。いわば、ロータリアンの教育機関である。」と言い切っておられます。

したがって、ロータリーは個人奉仕を中心とする社交団体であり、個人の力量や徳の力が問われるのです。以上がライオンズクラブと違うところです。

米山梅吉さんは、ご自分の財産を苦学生の学費のために使い、破産に瀕したこともあったようですが、一切、人には言わなかったそうです。これがロータリアンの精神伝統であります。その後、東京RCは米山さんの遺徳をしのび、米山記念奨学会を作りました。